

新規利用登録団体紹介

■一般社団法人 Kid's Garden

渋谷区を中心に、地域福祉と地域活性化をめざし活動しています。地域の祭りやイベント等で、鳥取県や鳥取市の農産物等の紹介や販売協力をしています。太陽のマルシェにも定期的に参加。目黒区などで子育てバリアフリーマップの作製を通じて、子育てと子育てと福祉のまちづくりにも貢献しています。

<https://ja-jp.facebook.com/FaRenKidsGarden>

■特定非営利活動法人 ファンズアスリートクラブ

福祉の増進や子どもの健全育成に寄与することを目的に、障害者・高齢者・子ども・一般市民に対する健康増進やスポーツ普及に関する事業を行っています。また、総合型地域スポーツクラブの運営など地域コミュニティの形成や地域安全事業等も行い、まちづくりの推進に貢献することも目的としています。

<http://www.funssports.com/>

■特定非営利活動法人 日本アンパティサッカー協会

日本におけるアンパティサッカー（上下肢切断者サッカー）文化の振興や地域コミュニティの活性化をめざした団体です。障害者や有無を越えて誰もが参加できるアンパティサッカーの実施や、そのための普及啓発や指導者育成など、誰もが健やかな生活を送る手助けとなる事業を行っています。

<http://j-afa.com/wp/>

協働ステーション中央のコーディネート事例

11/3育フェスCHUO開催！～区内の子育て団体や企業がつながり実現～

11月3日(火・祝) 10:00～ 16:00晴海トリトンスクエア2階グランドロビーで「育フェスCHUO2015」が開催されました。中央区の子育てを区民の手でもっと盛り上げようメンバーが集まり、実行委員会を立ち上げ企画運営した、区民参加のイベントです。当日は、区内の子育て団体や関連企業も参加し、音楽ライブやフラダンス、子どもプログラミング教室、赤ちゃんハイハイレースなど、親子で楽しんだり体験したりできるステイジイベントや体験型ワークショップが目白押し。参加



者も2,000人(公式)と大盛況。協働ステーション中央も、中央区子ども・子育て会議のメンバーだった実行委員会スタッフから相談を受け、子育てに関する活動団体や企業の方をコーディネートしました。開催を通じて新たな活動の輪が広がるなど次回開催も期待したいイベントです。

協働ステーション中央*開催報告

交流サロン「企業の社会貢献活動アイデアが集まる 企業×地域=∞!」

10月22日(木)交流サロンを開催しました。最近、「企業ノウハウを生かした社会貢献がしたい」という区内企業からの各種相談が増えてきています。今回はこのような地域に根ざした異業種の企業がアイデアを発表し、参加者同士で連携の可能性を探ることを目的とし、プレゼンテーションと交流会の二部構成で開催しました。



前半は16企業が3分間プレゼンし、参加者に「共感した」「連携したい」事業のパネルに付箋でコメントを寄せてもらいました。コメントが最も多かったのは勝どき・月島エリアで近所SNSを運営する「PIAZZA株式会社」。次いでシニアのいきがづくりミュージカルを立ち上げた「R60 THE MUSICALプロジェクト」。十思カフェにもご登壇いただきました。後半の交流会は、参加者も70名で情報交換。「ご近所同士でびっくり!」「近くにこんな活動があるのか」と大盛況でした。交流サロンを通じてよりよい社会貢献活動のキッカケや出会いになれば幸いです。

中央区の社会貢献活動をつなぐ

協働マガジン

15

Kyodo Station Chuo

協働提案事業の相談受付中!

平成27年度中央区協働提案事業特集 [2]

協働ステーション中央では、区と社会貢献活動団体との協働提案事業をコーディネートしています。

中央区初!地域コミュニティの担い手養成塾を開催!

提案団体: NPO法人CRファクトリー
担当部局: 区民部地域振興課
事業名称: 「地域のつながりづくりコミュニティ」担い手養成 スタートアップ・プログラム

この事業は、NPO法人CRファクトリーと区民部地域振興課との協働事業です。町会等の地縁組織などで、楽しみながら主体的に活動する「担い手」を養成する講座を開催しました。地域活動の重要性を伝えながら区民主体の活動を促し、地域の人々を巻き込み発展することで、顔の見える関係づくりや、関わる人々の生きがいづくりにつながります。そのような「場」が、地域のあちこちに常に存在する状態を生み出すことがねらいです。



地域コミュニティ運営を得意とする団体

NPO法人CRファクトリーはこれまでに、コミュニティ運営の担い手を育成する講座を数多く開催してきました。町会・自治会の地縁組織の方々をメインターゲットとした開催は、団体としても初の試みでしたが、協働事業の構築段階から、これまでの実績やそこから得たノウハウを地縁組織に提供することの意義を担当部局に説明し、実施にいたりしました。

映画「ふるさとがえり」の上映会を開催

担当部局と話す中で、「これまで講座などへの参加経験がない方々にとって、担い手養成講座への参加はハードルが高いのではないか」という点が議論になりました。その点を克服するため、9月から10月にかけて計3回、地域のつながりづくりの意欲喚起と担い手候補の発掘を目的とした映画「ふるさとがえり」上映会を開催しました。



地域コミュニティ担い手養成塾は中央区初の取り組み

9月から10月にかけて、担い手養成塾開催に向けた説明会を2回行いました。町会・自治会活動に関わっている方をはじめ、これから活動に関わりたい方、新しく始めた活動を地域の方、どう連携し発展させていけばよいのか悩んでいる方など、総勢約30名から申し込みがありました。講座は全6回開催。講義形式だけではなく、周囲の人を巻き込むために必要な企画力を身につけ、実際の活動に活かせるよう、区内で活動する団体の方を招いた事例紹介も行いました。

定員を超える参加者との新たな動き

このような講座を開催したことで、受講生同士の交流、地域を越えたつながりが強まりつつあります。志を持った方が講座に集まれば活動ノウハウや区内の先進事例なども共有しやすくなるだけでなく、受講生同士による新たな試みや協力関係も進みやすくなります。今後、協働ステーション中央でも、受講生の活動を地域活動に発展させていけるよう、情報発信の機会を含め、サポートしていきたいと考えています。

NPO法人CRファクトリー
<http://www.crfactory.com/>



協働マガジン 15

協働ステーション中央は、(特活)NPOサポートセンターが中央区からの事業委託により運営しています。

協働ステーション中央

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア2階

TEL: 03-3666-4761 FAX: 03-3666-4762

E-mail: info@kyodo-station.jp

中央区社会貢献活動情報サイト: <http://chuo.genki365.net/>

開館時間: 火曜～日曜 10:00～19:00 ※会議室利用のみ 9:00～21:00 (要予約)

休館日: 月曜、年末年始、施設点検日

交通 駐車場はありませんので、車での来場はご遠慮下さい。
東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅4番出口徒歩3分。江戸バス北循環「小伝馬町駅」下車徒歩4分



協働ステーション中央 サポートメニュー活用術 ＊相談編

対象

- 区内で活動を始めたい・団体を設立したい方
- 区内の社会貢献活動団体（ボランティア・NPO 団体、企業、町会・自治会）の方

内容

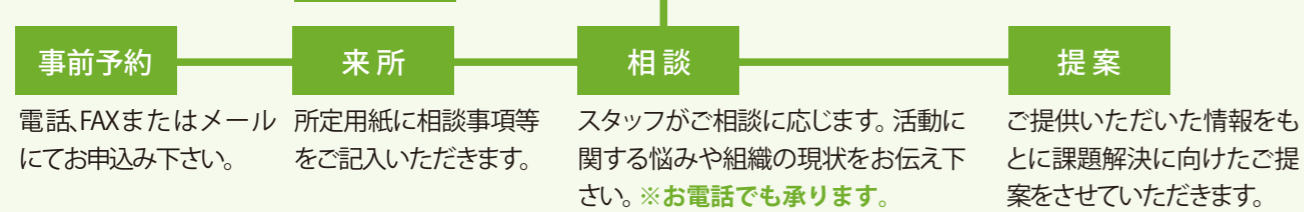
- NPO、ボランティア、社会貢献活動（市民活動）に関すること
- 任意団体やNPO 法人の設立、会計・労務に関すること
- 事業展開や組織運営力の強化に関すること
- 協働のパートナー紹介に関すること
- 協働提案事業制度に関すること など

相談受付時間 10:00～19:00（月曜、施設休館日、年末年始を除く）

協働ステーション中央では、ボランティア・NPO 団体、町会・自治会、企業など、社会貢献活動団体の相談に応じています。



相談の流れ



よくある相談例

個人

- 退職後に社会貢献を始めたい。どんな活動があるのか知りたい。
- ボランティア・NPO 活動に参加する方法を知りたい。
- 社会貢献活動を始める方法を知りたい。

団体

- 事業連携できる団体を探している。
- 活動を周知してほしい。
- 協働事業を提案したい。
- 検討している企画を実践する場所を探している。
- 活動を始めたが思うように活動が広がらない。
- NPO 法人の設立方法を知りたい。

企業

- 社員と社会貢献活動を始めようと思っている。活動事例を知りたい。
- 組織として社会貢献事業の展開を検討中。協働先を知りたい。
- 物品を団体に寄付したい。
- 地域の方々と関わることのできる、新たな事業を検討したい。
- イベントで集まった資金を寄付したい。どのような団体があるか。
- 社会貢献に関するイベントを行うにあたり、連携できるNPOを紹介してほしい。

申込み・問合せ

協働ステーション中央

TEL : 03-3666-4761 FAX : 03-3666-4762
E-mail : info@kyodo-station.jp

協働ステーション中央では、区内企業の多様な地域活動について取材をしています。今回は経営者の想いをカタチにするのが得意なソーケングループ（株式会社ソーケン、プロシード株式会社、株式会社ソーケン製作所）の事例紹介です。

企業取材 第11回

ソーケングループ（新川）
代表取締役 有吉徳洋

■間伐材から雇用も 生み出す木製ピンバッチ

ソーケングループは、木材、オフィスや美術館の設計施工、web映像制作の3社からなり、ワンストップサービスを展開しています。社会貢献のきっかけは、「木は生きていくんだ」という亡き先代との話から。2代目に引き継いだ11年前、親孝行の想いも込めて、製材のときに出る端材や間伐材を活用したクリスマスツリーを製作し、児童養護施設に寄贈しました。子どもたちでも組み立てられて、収納し



やすいものにしてほしいという要望をかたちにしたものです。また、大企業から受けた木製ピンバッチ作製も、福祉作業所に加工テクニックを教え、作業を依頼しています。

■空時間を有効活用

「ソーケン・ソーシャルサロン」2年前に中央区に事務所を移転しました。1階のショールームは、空いた時間をNPO等に貸しています。また、アーティスト等のゲストも紹介しています。本業とは関係ない分野の活動でも社会貢献活動を通じての出会いや自然とWIN-WINになっていくケースが多く、社会貢献がご縁で内装工事や映像制作につながることもあります。



■CSR推進の効果

CSRを推進することで、経営者としても社員をクビにはできず、何がなんでも雇

用を守らなくてはという気持ちになりました。行動の一言一動を気遣い、マナーも良くなったと思います。これまでさいたま市、横浜市、千葉市で企業やNPOの活動事例を知ってもらうCSRサミットを開催してきました。サミットを開催すると仲間が増えて交流が生まれます。ぜひ中央区でもサミットを開催したいと考えています。

ソーケングループ
<http://www.soken-net.co.jp/>



協働ステーション中央 《 イベント告知 》

十思カフェvol.57

「人々のココロとカラダを温める カンタン武道で生きがいづくり」

平成27年度最後の十思カフェのご案内です。からだ動かなくなると、こころも不安になってきて、外に出て何かしようという気持ちになれなくなる——そんなことはありませんか？今回は、武道の要素を取り入れた自宅でできるカンタン体操を考案した「武道と生きがいづくり研究所」所長の内蔵巖児さんを迎え、こころとからだに効く武道体操を体験します。からだを壊したときに、武道歴26年の経験を活かしてこの体操を考案し、今では元気に、地域貢献を果たしています。今では武道体操が、大内さんにとっての生きがいになっています。皆さんの「生きがい」は何ですか？自分にできることで何か地域貢献したい方のヒントにもなる回です。



- [日 時] 3月23日（水）14:00～16:00
- [場 所] 協働ステーション中央
- [ゲスト] 大内巖児さん（武道と生きがい長寿研究所 所長）
- [参加費] 無料
- [申込み] 電話（03-3666-4761）かメール（info-entry@kyodo-station.jp）で協働ステーション中央までお申込み下さい。当日参加も可能です。

